

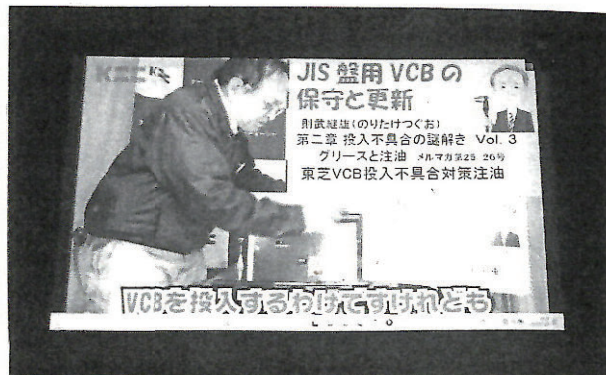
公益社団法人 東京電気管理技術者教会多摩支部様 技術講習会 R6-2-27 弊社 則武が講演させていただき、内容が、以下のように、多摩支部様発行の「多摩だより」に紹介されました。

講演 I

「VCB投入不具合と機構部の保全管理」

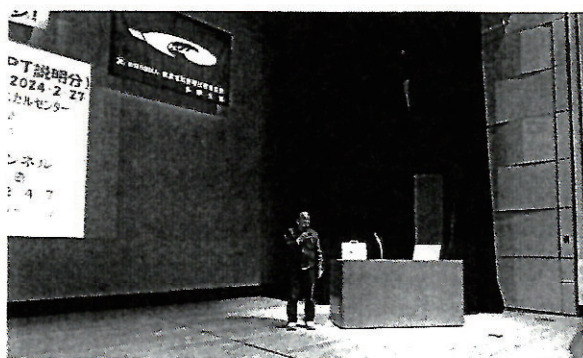
株式会社ケーイーシー 則武継雄様

講演ではVCBの注油の必要性、注油のポイント等をパワーポイントやYouTubeの動画を使って説明して頂きました。



Youtubeによる説明

株式会社ケーイーシーでは各メーカー指定のオイル、グリースをセットにした保守セットという商品を販売しています。メーカー指定のオイル、グリースは小容量で入手することは難しく、様々な種類を用意するのは極めて困難ですが、保守セットは主要5社（三菱、東芝、富士、日立、エナジーサポート）のオイル、グリースを小容量でセットにまとめた画期的な商品です。



株式会社ケーイーシー 則武継雄 様

1. VCBの注油の必要性について

VCBの注油方法は製造メーカーの取扱説明書に記載されています。ここで大事なのは取扱説明書通りに注油をすることです。メーカー指定のグリースを適切な箇所に注油することで、操作機構の円滑な動作を助け、長期間にわたりVCB本来の性能を維持させることができます。

2. VCB投入不具合の原因

年次点検が終わり、復電の為、最後にVCBを投入しようとしたときにVCBが入らなくなることがあります。この事象は冬場に発生しやすく、原因は気温に関係します。冬場の低い気温ではVCBのグリースが固くなり、VCBの機構が空回りするからです。

メンテナンスで適切な箇所に適切なグリースを注油して、注油後は投入と遮断操作を5回ほど繰り返し、グリースを機構になじませることが重要です。

その他、講演では日立の取扱説明書を例にした説明や、VCBの機構や構造の説明をして頂きました。



販売している保守セット

実際に販売している保守セットが会場入口に展示してありましたが、一つのセット中に多くの種類が揃っていました。ケースの中にオイル、グリースがきれいに並べてあり、メーカーごとに色分けされている為、現場でもすぐに取り出して使いやすい商品だと感じました。

株式会社ケーイーシーのテクニカルセンターは、東京都日野市にあります。興味のある方は株式会社ケーイーシーの担当 則武様 (noritake@kecfuture.com) に問い合わせをお願いいたします。